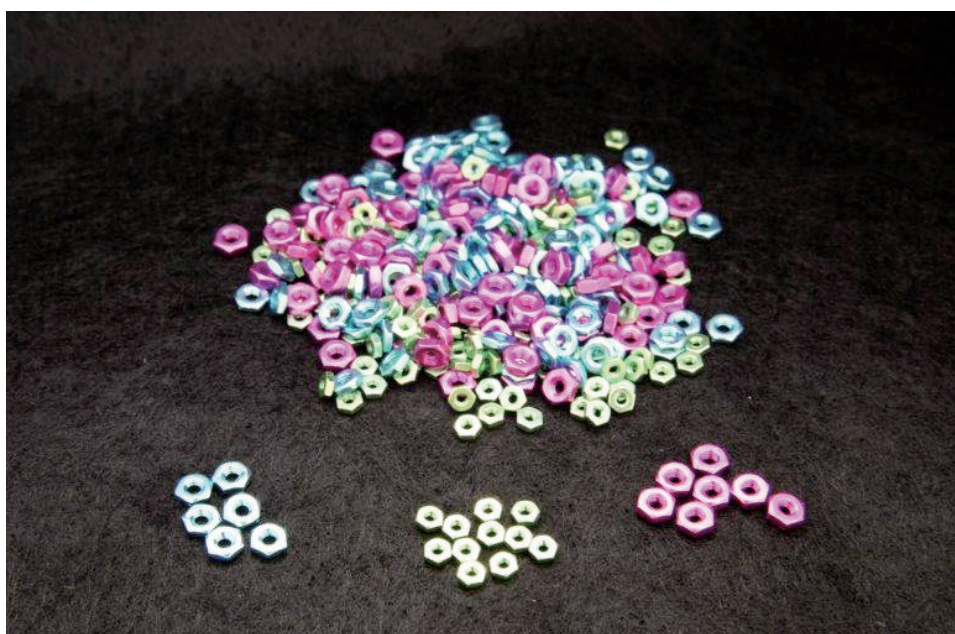


極小物、難形状部品にも 高品質の亜鉛めっき

納期
相談
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



色味、膜厚精度に優れた亜鉛めっき加工した部品

業務
内容
難素材も得意、
環境対応で先進

亜鉛めっき加工を専門に手がけ、小物や難形状・難素材品など、一般に難しいとされる仕事を得意としている。受注するのは主に、ボルト・ナット・スプリング・座金などの締結部品で、高精度の品質管理に定評があり、近畿圏以外からも注文が来る。試作ではさまざまな表面処理・改質処理の案件に対応する。手動によるめっき加工設備を備えて少量多品種の技術ノウハウを蓄積しており、径が1mm以下の極小物も実績がある。また欧州の環境規制に対応し、早くから六価クロムの代替開発に取り組み、いち早く三価クロム化成処理の量産を立ち上げ、市場で優位なポジションを築いた。

強み
高品質生み出す、
品質管理体制に力

緻密、密着性、色味、膜厚精度などに優れた、めっき加工を提供する。かご容器に入れて行うバレルめっきは、スプリング・座金・中空品などは通常は不良が起こりやすい仕事とされるが、手動設備により、めっき条件データを豊富に蓄積しており、そのノウハウで難しい仕事でも安定して高品質を出せる。品質管理は徹底しており、社内で品物の受け入れから出荷までの工程ごとに、9種類の検査を行う。また、品質管理要領や作業手順書に基づいた仕事の進め方を周知徹底するほか、検査機器の管理においてもルールを定めている。業務情報システムを活用して、生産履歴も迅速に追跡できる。

人材
育成
月1回の全体勉強会、
社員旅行で顧客見学

社員の意識づけ、人材育成に岡田久子社長が陣頭指揮で長年取り組んでいる。2S（整理、整頓）・3定（定位置、定品、定量）活動のほか、ポカミスに対しては担当者を含めた原因の究明や改善方法について手を抜かずきめ細かく行う。その一方で「社員は自分の息子や娘と同じ。失敗やつらい状況に直面しても前向きにとらえて、毎日明るく励むようアドバイスしている」と岡田社長は語る。

毎月1回土曜日に外部コンサルタントを招いた勉強会と全体ミーティング、改善表彰、飲食会を開く。また数年おきに企画する社員旅行は、遠方の顧客見学とセットで行う。



明るい社員一同

今後の
展望
ウイスカ対策技術、
市場展開へ

めっき膜上で成長する微細なひげ状の結晶「ウイスカ」。その対策技術の開発に取り組んでおり、実用化にめどをつけた。公設試験場による分析・評価を受けて、平成28年に市場展開を始める。電子機器が思わぬトラブルを起こす原因として亜鉛ウイスカが指摘されており、差別化技術として売り出す。これらユニークな技術を武器に、大手メーカーの開発にも積極的に関わっていく。塗装部門に新設備の導入計画を進めている。単価下落の傾向が続く中でも業績は堅調で、粘り強い人材育成活動を基軸に国内で勝ち残りを目指している。

COMPANY PROFILE

株式会社 三晃鍍金工業所

大阪
27

ISO 9001

当社の 歴史

創業時は各種めっきを手がけ、その後に亜鉛めっきに絞こみ、昭和42年に大阪市内から大阪府東大阪市に移転しました。この15年間で、六価クロムからの技術転換、小径・少量対応の技術など、めっき技術の外部コンサルタントの助力を得て、新たな取り組みを積極的に進めています。

創業68年の亜鉛めっき加工専門の会社として、
亜鉛めっきの無限の可能性を提案します。

代表取締役 岡田 久子さん



■主な事業内容
電気亜鉛めっき

■主な取引先（納入先）
締結部品（ボルト・ナット・スプリング・座金など）
メーカー、服飾品メーカーなど

住 所／〒577-0065
東大阪市高井田中
4-3-21
T E L／06-6783-2030
F A X／06-6787-5660
創 業／昭和22年6月
設 立／昭和42年7月
資本金／1,000万円
従業員／22名

<http://sankoo-ep.co.jp/>